

I. 教育研究

1. 教育研究

| No | 年度            | 成 果  |   | 委員会                      | 主な発信先     |
|----|---------------|--|---|--------------------------|-----------|
|    |               | 刊行物名／概要  | 関連アンケート／主な設問  |                          |           |
| 1  | R3<br>(2021)  | <b>社会の発展を支える私立大学理工系分野－教育の充実に向けた課題と取組－</b>  | －   | 理工系分野の教育研究推進プロジェクト       | 加盟校<br>社会 |
|    |               | これからの私立大学理工系分野の教育を一層充実させるために対応が必要な課題と、国や産業界に対する、また私立大学の理工系分野自らが行うべき取組について提言。                           | －   |                          |           |
| 2  | R2<br>(2020)  | <b>理工系分野におけるオンライン教育への取組と課題</b>   | －   | 理工系分野の教育研究推進プロジェクト       | 加盟校       |
|    |               | 私立大学コロナ禍における理工系分野のオンライン教育に焦点を当て、加盟大学の理工系学部・研究科における取組と課題をまとめた。  | －   |                          |           |
| 3  | R2<br>(2020)  | <b>私立大学理工系分野の研究基盤の強化と向上－科学技術イノベーションの推進に向けて－ 課題と国への提言（概要）</b>   | －   | 理工系分野の教育研究推進プロジェクト       | 加盟校<br>社会 |
|    |               | 「私立大学理工系分野の研究基盤の強化と向上－科学技術イノベーションの推進に向けて－」の概要版。  | －   |                          |           |
| 4  | R2<br>(2020)  | <b>私立大学理工系分野の研究基盤の強化と向上－科学技術イノベーションの推進に向けて－</b>  | <b>私立大学理工系分野の学部・研究科における取組・整備状況等に関するアンケート</b>  | 理工系分野の教育研究推進プロジェクト       | 加盟校<br>社会 |
|    |               | 私立大学の理工系分野における研究基盤の充実に向けて現状の課題と国の支援の在り方等について検討し、提言をとりまとめた。また、提言とあわせて私立大学の特色ある研究事例と、社会で活躍する卒業生の声を紹介。    | ①共同研究・受託研究のための「契約雛形」「規程」等の整備状況<br>②共同研究・受託研究の獲得状況（2016～2018年度）<br>③教員のクロスアポイントメント制度の仕組み<br>④リサーチ・アドミニストレーター（URA）の配置状況<br>⑤女性研究者を支援するための組織的な取組・工夫等<br>⑥研究時間を捻出するための組織的な取組・工夫等                    |                          |           |
| 5  | H30<br>(2018) | <b>私立大学の世界発信力強化に関する検討プロジェクト報告書</b>   | <b>「大学の世界発信力強化」及び「世界大学ランキング」に関するアンケート</b>   | 私立大学の世界発信力強化に関する検討プロジェクト | 加盟校<br>社会 |
|    |               | 世界大学ランキング指標に係る課題と、日本の私立大学の世界発信力強化の施策についてアンケート調査を行い、「世界大学ランキング」のあり方を含め、国内私立大学が世界に向けた発信力強化についての課題や問題を整理。 | I 海外への情報発信<br>①大学の情報（建学の精神、特色等）の海外発信の有無<br>②海外への情報発信の目的<br>③発信ツール<br>④発信情報の内容<br>⑤情報発信の創意・工夫<br>II 世界大学ランキング<br>①各種世界大学ランキングの活用について<br>②THE 世界大学ランキングの問題点や課題<br>③世界大学ランキングが大学の政策・施策に活用されることについて |                          |           |

| No | 年度            | 成 果   |  | 委員会              | 主な発信先     |
|----|---------------|---|--|------------------|-----------|
|    |               | 刊行物名／概要   | 関連アンケート／主な設問   |                  |           |
| 6  | H30<br>(2018) | <b>私立大学における教育の質向上に関する取り組み－提言と新たな課題－</b>   | <b>教育の質向上の取り組みに関する調査</b>   | 教育研究委員会          | 加盟校<br>社会 |
|    |               | 教育の質向上に関する取り組み状況や事例を整理し、新たな課題と、大学教育の多様性を発展させるための方策としての提言。                       | ①教学マネジメント<br>②カリキュラム編成上の工夫<br>③教育方法・学習方法<br>④シラバスの充実   |                  |           |
| 7  | H30<br>(2018) | <b>私立大学における教育の質向上に関する取り組み～学習成果の可視化による大学教育の質保証～</b>                              | ⑤GPA 制度の導入・活用<br>⑥学習成果の把握方法<br>⑦学習成果に関する情報の活用<br>⑧学習成果の可視化に向けた取り組み   |                  | 加盟校<br>社会 |
|    |               | 加盟大学における、ディプロマポリシーに基づく学習成果の可視化など、教育の質向上のための多様で特色のある教育改革の取り組みの現状をとりまとめた。         |  |                  |           |
| 8  | H30<br>(2018) | <b>教育の質向上の取り組みに関する調査報告書</b>   |  | 加盟校              |           |
|    |               | 加盟大学における大学教育の質向上の一助に資するため、ディプロマ・ポリシーに基づく学習成果の可視化をはじめとする加盟大学の教育の質向上の取り組みをとりまとめた。 |  |                  |           |
| 9  | H29<br>(2017) | <b>これまでのIRこれからのIR 課題と提言</b>   | <b>大学のインスティテューショナル・リサーチ (IR) に関するアンケート</b>   | 大学IR機能促進検討プロジェクト | 加盟校<br>社会 |
|    |               | アンケート調査に基づき私立大学の現状を分析、IR の課題を抽出し、各加盟大学が今後 IR 活動を積極的に推進していくために必要なポイントを提言         | ①IR 実施組織設置状況<br>②組織の体制等<br>③組織の長<br>④IR 組織の予算措置<br>⑤IR 組織の役割<br>⑥IR 組織が収集しているデータ<br>⑦IR 活動の実施体制<br>⑧IR 活動の目的<br>⑨学生に関するデータの収集・分析<br>⑩全学レベルのローデータへの IR 活動担当者のアクセス権限の状況<br>⑪IR 活動に専従する教職員の採用・育成<br>⑫IR 活動、IR 組織の課題 |                  |           |
| 10 | H28<br>(2016) | <b>「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」等に関する課題整理</b>  | —  | 教育研究委員会          | 加盟校       |
|    |               | 新テストへの対応と大学入学者選抜全体の改革検討状況を踏まえた課題を整理。  | —  |                  |           |
| 11 | H27<br>(2015) | <b>3つのポリシーの一体的な策定・公表に向けて－指針と事例－</b>   | —  |                  |           |
|    |               | 各大学独自の「3つのポリシー」を策定・公表し、実践する際の参考となるものを目指してとりまとめ、好事例を選定紹介。                        | —  |                  |           |
| 12 | H25<br>(2013) | <b>高等学校教育と大学教育の一体改革－達成度テスト（仮称）を巡って－</b>   | —  |                  |           |
|    |               | 新たなテスト構想を私立大学としてどうとらえ、また、国に対して何を要望すべきか。   | —  |                  |           |

## 2. 学生支援

| No | 年度           | 成 果   |   | 委員会                      | 主な発信先     |
|----|--------------|---|---|--------------------------|-----------|
|    |              | 刊行物名／概要   | 関連アンケート／主な設問  |                          |           |
| 1  | 毎年           | <b>奨学金等分科会報告書*</b><br>奨学金等調査の調査結果について。  | <b>奨学金等調査</b><br>・学内奨学金実施状況<br>・日本学生支援機構奨学金受給状況 等   | 学生委員会奨<br>学金等分科会         | 加盟校       |
| 2  | 4年に<br>1回    | <b>私立大学学生生活白書</b><br>加盟大学学生の学生生活の実態に関する分<br>析結果を、今調査を含む3回分(8年間)の<br>時系列比較を中心にとりまとめ。<br>(最新版:2018年度)   | <b>学生生活実態調査</b><br>①基本事項(大学名、学年、出身校等)<br>②大学等の選択理由、入学後の満足度、大<br>学への期待・要望<br>③経済(経済状況、アルバイトの状況等)<br>④ライフ(大学生生活)(趣味、食事、喫煙、<br>薬物等)<br>⑤正課教育(満足度、期待等)<br>⑥正課外教育(サークル、インターンシップ等)<br>⑦留学<br>⑧不案・悩み(ハラスメントの有無等)<br>⑨進路<br>⑩最後に(大学で身につけた力、身につけたい力)   | 学生委員会学<br>生生活実態調<br>査分科会 | 加盟校<br>社会 |
| 3  | 4年に<br>1回    | <b>学生生活実態調査集計報告書*</b><br>学生生活実態調査の調査結果について。   |   |                          | 加盟校       |
| 4  | R3<br>(2021) | <b>「新型コロナウイルス禍の影響に関する学<br/>生アンケート」集計報告書</b><br>新型コロナウイルス感染症がもたらした学<br>生への影響を把握するための学生調査「新<br>型コロナウイルス禍の影響に関する学生ア<br>ンケート」を実施し、取組と課題をまとめ<br>た。 | <b>新型コロナウイルス禍の影響に関する学生<br/>アンケート</b><br>①学問系統、<br>②-1.キャンパスの所在地<br>②-2.大学のあるエリア①<br>②-3.大学のあるエリア②<br>③性別<br>④学年<br>⑤居住形態<br>⑥受けた支援の種類<br>⑦支援を受けていない理由<br>⑧昨年度(令和2年度)の収入変化<br>⑨昨年度(令和2年度)収入が減った原因<br>⑩収入減の切り抜け方法<br>⑪今年度(令和3年度)の収入変化<br>⑫今年度(令和3年度)収入が減った原因<br>⑬アルバイトの業種<br>⑭コロナ禍における大学生生活での不満点<br>⑮オンライン授業受講に対する改善要望<br>⑯課外活動参加有無<br>⑰課外活動量変化<br>⑱課外活動への参加や活動の際の不安<br>⑲オンラインを活用した社会活動、課外活<br>動の展開・参加有無<br>⑳コロナ禍の学生生活を経験して悩み、不<br>安・心配に感じていること<br>㉑相談相手<br>㉒不安や悩みを抱えた学生のための情報発<br>信<br>㉓不安や悩みを抱えた学生に対する大学の<br>対応 | 学生委員会                    | 加盟校       |

※ \*については、私大連webサイト(データライブラリ)からデータをダウンロードすることが可能です。

### 3. 国際交流関係

| No | 年度            | 成 果   |   | 委員会     | 主な発信先             |
|----|---------------|---|---|---------|-------------------|
|    |               | 刊行物名／概要   | 関連アンケート／主な設問  |         |                   |
| 1  | 毎年            | <b>国際教育・交流調査*</b><br>国際教育・交流調査の調査結果について。  | <b>国際教育・交流調査</b><br>・外国人留学生受入状況（大学別・国別）<br>・日本人学生派遣状況（大学別・国別）等  | 国際連携委員会 | 加盟校               |
| 2  | R3<br>(2021)  | <b>グローバル教育の拡充 ―国際教育・連携の視点から―</b><br>コロナ禍が未収束の状況の只中でポストコロナ時代を見据えながら、国際教育・連携における現状の認識と分析、課題の指摘、課題解決への提言、未来へ向けてのビジョンの提示とその実現を可能にする制度的・技術的システムの見通しについて検討。 | —   |         | 加盟校<br>社会         |
| 3  | R2<br>(2020)  | <b>新型コロナの影響下における諸対応</b><br>委員校における国際教育や留学（派遣・受入）等の状況について情報交換を行い、その概要を「新型コロナの影響下における諸対応」にとりまとめた。   | —   |         | 加盟校               |
| 4  | H29<br>(2017) | <b>留学後の学生に対する支援のあり方―留学経験を価値のあるものにするために―</b><br>留学プログラムから帰国後の学生に対するフォローアッププログラムの現状と課題を整理。  | —   |         | 加盟校               |
| 5  | H28<br>(2016) | <b>海外留学の促進に向けて―危機管理のためのトラブル事例共有―平成29年度改訂版</b><br>海外留学に伴うトラブル事例（188件）を分類し紹介。各事例における対応内容まで掲載することで、危機防止や回避という視点を持ち、大学としての初期対応の在り方について参考となる情報を掲載。         | 「大学における海外留学トラブル事例」<br>情報提供のお願い<br>①事例分野 ②対象事象<br>③国名 ④渡航種別<br>⑤単位認定あり・なし<br>⑥対象学生の学部・大学院<br>⑦対象学生の性別 ⑧事故・事件の状況<br>⑨対応内容                   | 国際連携委員会 | 高等学校<br>加盟校<br>社会 |
| 6  | H27<br>(2015) | <b>大学生になったら留学しよう！高校生のための留学Q&amp;A</b><br>高校生に大学入学後の留学を意識してもらうための小冊子。<br>留学に関するQ&A、実際に留学した学生の体験談等を紹介。  | 『大学生になったら留学しよう！高校生のための留学Q&A』アンケート<br>①冊子について（見た目、情報量等）<br>②冊子の内容について参考になったもの<br>③参考となった理由<br>④留学に対する気持ち（留学したい、留学サポートのある大学に行きたい、世界で活躍したい等） |         | 加盟校<br>社会         |
| 7  | H26<br>(2014) | <b>HAZARD PREPAREDNESS MANUAL – How to provide support to international students when a disaster occurs</b><br>『留学生担当者用 大規模災害時の留学生サポートマニュアル』の英文概要版    | —   |         | 加盟校<br>社会         |
| 8  | H25<br>(2013) | <b>留学生担当者用 大規模災害時の留学生サポートマニュアル</b><br>留学生の視点に立った大規模災害時の留学生サポートマニュアル。  | —   |         | 加盟校<br>社会         |

※ \*については、私大連webサイト（データライブラリ）からデータをダウンロードすることが可能です。

## II. 大学経営

### 1. 大学経営

| No | 年度           | 成 果  |   | 委員会               | 主な発信先 |
|----|--------------|--|---|-------------------|-------|
|    |              | 刊行物名／概要  | 関連アンケート／主な設問  |                   |       |
| 1  | R3<br>(2021) | <p><b>私立大学の情報公表—自律性、公共性、信頼性・透明性、継続性の観点から—【最終報告】</b></p> <p>私立大学の情報公表のあり方について検討し、令和元年度に「中間報告」を取りまとめた。その後も会員法人からの意見や、会員法人における情報公表の実態等を踏まえて検討を深め「最終報告」を取りまとめた。</p>                                    | <p><b>教育情報及び財務情報の公開状況に関する調査結果</b></p> <p>【情報公開全般に関する設問】</p> <p>①ステークホルダーの理解に資するための公開方法上の取組や工夫</p> <p>②自己点検・評価、認証評価の結果等のウェブサイトへの公表状況</p> <p>【教育情報に関する設問】</p> <p>①教育情報の公開対象として最も意識しているステークホルダー</p> <p>②①のステークホルダーに特に伝える必要があると考える情報項目</p> <p>③教育の質等に関わる情報のウェブサイトへの公表状況</p> <p>④教育の質等に関わる情報公表の工夫</p> <p>⑤ウェブサイト上で公開している特にアクセス数の多い教育情報</p> <p>【財務情報に関する設問】</p> <p>①財務情報の公開対象として最も意識しているステークホルダー</p> <p>②財務情報をウェブサイトへ公開する際のプロセス等</p> <p>③財務情報公開に係るウェブサイト上の工夫</p> <p>④主な財務比率のウェブサイトへの公開状況</p> <p>⑤ウェブサイト上で公開している特にアクセス数の多い財務情報</p> <p>【新型コロナウイルス感染症に係る情報公開に関する設問】</p> <p>①オンライン授業に関する学生アンケートの状況</p> <p>②コロナ禍の経験から改善を図った情報公開の取組</p> <p>③新型コロナウイルス感染症対応により生じた支出ウェブサイトへの公表</p> <p>④経営状態の確認、ウェブサイトへの公表状況</p> | 経営委員会情報公開検討分科会    | 加盟校   |
| 2  | R2<br>(2020) | <p><b>会員法人における「自律性の向上」に向けた取組みの進捗状況に関するアンケート結果</b></p> <p>『日本私立大学連盟私立大学ガバナンス・コード』（以下、「私大連コード」という。）を2019（令和元）年6月に策定した。会員法人における同コードの周知状況及び「自律性の向上」に向けた取組みの進捗状況を把握し、今後の私大連コードに関わる検討の参考とすることを目的とする。</p> | <p><b>会員法人における「自律性の向上」に向けた取組みの進捗状況に関するアンケート</b></p> <p>（学内における周知状況）</p> <p>①私大連コードの学内における周知状況（進捗状況）</p> <p>②（1）「遵守原則」の点検・確認作業の進捗状況</p> <p>（2）「遵守原則」の遵守に向けた取組みの改善の必要性</p> <p>（3）「基本原則」ごとの「重点事項」、「実施項目」の取組み状況</p>   | 経営委員会大学ガバナンス検討分科会 | 加盟校   |

| No | 年度            | 成 果   |   | 委員会               | 主な発信先 |
|----|---------------|---|---|-------------------|-------|
|    |               | 刊行物名／概要   | 関連アンケート／主な設問  |                   |       |
| 3  | R2<br>(2020)  | <p><b>「新型コロナウイルス感染症に関わる大学の情報発信」に関する調査結果</b></p> <p>2020（令和2）年に行われた加盟大学の情報発信の実態を把握し、今後、加盟大学が危機発生時に社会から信頼を得るための適切な情報発信のあり方を検討するための参考とする。</p>        | <p><b>新型コロナウイルス感染症に関わる大学の情報発信に関する調査</b></p> <p>I 緊急時を想定したマニュアル等における感染症への対応状況</p> <p>①緊急時を想定したマニュアル等における感染症の発生への対応状況</p> <p>②危機管理時の情報発信のマニュアル等における感染症の発生への対応状況</p> <p>II 新型コロナウイルス感染症への対応等に関する情報発信状況</p> <p>③発信する情報、発信方法の決定者について</p> <p>④新型コロナウイルス感染症に関する情報の発信状況</p> <p>III 社会からの意見・問合わせ等の状況</p> <p>⑤社会からの意見・問合わせ等の状況</p> <p>IV ウィズコロナ、ポストコロナの社会における情報発信・情報公表</p> <p>⑥今後の情報発信のあり方（緊急時の情報発信に係る改善点等）</p> <p>⑦今後の社会における情報公表のあり方など</p> | 経営委員会情報公開検討分科会    | 加盟校   |
| 4  | R2<br>(2020)  | <p><b>学校法人における「働き方改革」の推進に向けて</b></p> <p>会員法人間の情報共有、課題や取組方策の検討、会員法人における先進的事例の把握、政策提言に向けた検討とその成果のとりまとめを進め、プロジェクトとしての検討成果を標記報告書としてとりまとめた。</p>        | <p>①労働時間</p> <p>②時間外労働</p> <p>③年次有給休暇</p> <p>④公正な待遇</p> <p>⑤その他</p>   | 働き方改革推進プロジェクト     | 加盟校   |
| 5  | R2<br>(2020)  | <p><b>私立大学の情報公表 - 自律性、公共性、信頼性・透明性、継続性の観点から - 【中間報告】</b></p> <p>私立大学の多様性を担保し、私立大学に対する社会からの一層の理解を獲得するための財務情報と教学情報の望ましい公表方法等について検討し、中間報告をとりまとめた。</p> | —   | 経営委員会情報公開検討分科会    | 加盟校   |
| 6  | R元<br>(2019)  | <p><b>日本私立大学連盟 私立大学ガバナンス・コード【第1版】</b></p> <p>会員法人の自主性と私立大学の多様性を踏まえつつ、大学改革を推進する上で指針となるべく策定。</p>  | —   | 経営委員会大学ガバナンス検討分科会 | 加盟校   |
| 7  | H29<br>(2017) | <p><b>私立大学経営における将来計画の現状と分析</b></p> <p>将来計画、中期計画の策定状況やそれらの公表状況等について、加盟大学の実態を把握するとともに、計画の達成に向けた取組の現状についてとりまとめ。</p>                                  | <p><b>学校法人の将来計画（中期・長期計画）にかかるアンケート</b></p> <p>①将来計画の策定の仕方</p> <p>②将来計画を策定できない理由</p> <p>③策定する将来計画の期間等</p> <p>④策定時に重視した要因</p> <p>⑤中期計画の概要（ミッション・ビジョン、行動計画）</p> <p>⑥策定にあたっての工夫</p> <p>⑦中期計画策定の効果</p> <p>⑧中期計画の達成状況の評価</p> <p>⑨達成状況の評価組織</p> <p>⑩評価の反映</p> <p>⑪中期計画策定時の公表状況</p> <p>⑫中期計画の進捗状況の公表状況</p> <p>⑬公表にあたっての工夫</p>  | 経営委員会             | 加盟校   |

| No | 年度            | 成 果  |   | 委員会                  | 主な発信先             |
|----|---------------|--|---|----------------------|-------------------|
|    |               | 刊行物名／概要  | 関連アンケート／主な設問  |                      |                   |
| 8  | H29<br>(2017) | <b>会員法人における収入の多様化に向けた取組事例集</b>   | <b>補助金等外部資金獲得にかかるアンケート</b>  | 経営委員会                | 加盟校               |
|    |               | 収入多様化に向けた私立大学の取組について。<br>「学生納付金」「手数料」「寄附金」「外部資金獲得」「付随事業収益」の5つの側面から対応策や加盟大学の取組事例等を紹介。                           | 「補助金業務」「募金（寄付）事業」「受託事業」「収益事業」に関わる<br>・事務組織設置状況<br>・担当人数<br>・注力度<br>・獲得に向けた取組上の工夫<br>・取組に注力することができない理由 等   |                      |                   |
| 9  | H29<br>(2017) | <b>私立大学の外部資金拡大に向けて</b>   |   | 総合政策センター政策研究部<br>門会議 | 加盟校<br>国・政府       |
|    |               | アンケート結果を規模、種別や設置する大学の学部構成の違い等でグループに分け、グループごとの傾向を分析。<br>国に対して実現可能な要望をおこなうとともに、加盟大学に対して経営改善と財政基盤の強化に役立つ良き実践例を紹介。 |   |                      |                   |
| 10 | H28<br>(2016) | <b>消費税問題に関するプロジェクト報告書</b>  | <b>消費税に関するアンケート（法人全体）</b>   | 消費税問題に関するプロジェクト      | 加盟校<br>国・政府<br>社会 |
|    |               | 消費税が私立大学に与えている影響、消費税率引き上げを見据えた今後の対応にかかる検討、政府等及び私立大学への提言。   | ①消費税の実質負担額<br>②消費税引き上げに関わる私大連の取り組みへの意見・要望<br>③今後の（消費税率の引き上げを見据えた）対応方針等  |                      |                   |
| 11 | H26<br>(2014) | <b>多様性あふれる私立大学の取り組み－私立大学の経営課題に対する方策集－</b>  | <b>「経営資源の観点に立った経営課題の設定とその取組状況」にかかるアンケート</b>   | 経営委員会                | 加盟校               |
|    |               | 経営資源の観点に立った経営課題の設定及びその取組状況を素材とした会員法人の具体的、かつ多様な取組事例の紹介。   | ①各経営課題（※）への対応状況。未対応の場合、対応の必要度合い。<br>※「大学入学前」、「在学中－ヒト」、「在学中－教育」、「在学中－設備」、「在学中－カネ」、「在学中－情報」、「卒業後」における51項目<br>②その他の経営課題の内容<br>③経営課題への具体的な対応策の内容とその成果 |                      |                   |
| 12 | H26<br>(2014) | <b>「経営資源の観点に立った経営課題の設定とその取組状況」にかかるアンケート集計結果</b>  |   |                      |                   |
|    |               | 経営資源の適切な配分という観点に立った経営課題への取り組み状況についての実態調査結果。  |   |                      |                   |
| 13 | H25<br>(2013) | <b>新学校法人会計基準の財務比率に関するガイドライン</b>  | —   | 新学校法人会計基準検討プロジェクト    | 加盟校               |
|    |               | <b>社会やステークホルダーへの説明責任と大学の中長期事業計画の策定に資することを目的として、新たな財務比率のガイドラインを掲載。</b>  | —   |                      |                   |
| 14 | H25<br>(2013) | <b>直面する経営課題と大学法人経営の充実・強化－建学の理念、規模、地域等による違いを踏まえた取り組みのために－</b>   | —   | 経営委員会                | 加盟校<br>国・政府<br>社会 |
|    |               | 私立大学における経営・財務上のリスクマネジメントのあり方及び、経営資源の観点に立った経営課題への取り組みのケーススタディ等について。   | —   |                      |                   |
| 15 | H25<br>(2013) | <b>改正労働契約法に関する私立大学の課題と対応策－最終報告－</b>  | <b>改正労働契約法への対応状況に関するアンケート調査</b>   | 改正労働契約法に関するプロジェクト    | 加盟校<br>国・政府       |
|    |               | 改正労働契約法の施行による私立大学への影響等を整理・研究し、会員法人に向けた対応策について。   | ①大学における有期労働契約教職員について<br>②大学における改正労働契約法への対応について<br>③非常勤講師の対応について<br>④その他（改正労働契約法の施行に伴い実施した〔実施を検討している〕人事施策等）  |                      |                   |

## 2. トップマネジメント

| No | 年度            | 成 果  |   | 委員会  | 主な発信先 |
|----|---------------|--|---|------|-------|
|    |               | 刊行物名／概要  | 関連アンケート／主な設問  |      |       |
| 1  | R3<br>(2021)  | <b>監事監査ガイドライン（令和3年度版）</b>  | —   | 監事会議 | 加盟校   |
|    |               | 全体の構成を全面的に見直したほか、監事監査チェックリストをガバナンス・マネジメント・教学関連の三つの区分に分類するとともに、項目を追加した。   | —   |      |       |
| 2  | R2<br>(2020)  | <b>監事監査ガイドライン（令和2年度版）</b>  | —   | 監事会議 | 加盟校   |
|    |               | 2019（令和元）年5月に一部改正された私立学校法が2020（令和2）年4月1日から施行されることを受けて、各種の準備や取り組みを進めている。  | —   |      |       |
| 3  | R元<br>(2019)  | <b>私立大学の明日の発展のために—監事監査ガイドライン [令和元年度版]</b>  | —   | 監事会議 | 加盟校   |
|    |               | 私立学校法等の一部が改正され、「日本私立大学連盟私立大学ガバナンス・コード【第1版】」を策定・公表したことにより、監事監査の環境も大きく変化した。監事の職責がより明確に規定され、学校法人のガバナンスの一端を担うものとしての社会的な責任と、監事自身の職務遂行が問われることとなった。 | —   |      |       |
| 4  | H30<br>(2018) | <b>私立大学の明日の発展のために—監事監査ガイドライン [平成30年度改訂版]</b>   | —   | 監事会議 | 加盟校   |
|    |               | 私立学校法第37条の「監事の職務」の規定に沿ったものに再編し、原則となる大きな区分に再編した。  | —   |      |       |
| 5  | H29<br>(2017) | <b>私立大学の明日の発展のために—監事監査ガイドライン [平成29年度改訂版]</b>   | —   | 監事会議 | 加盟校   |
|    |               | 平成28年度改訂版からさらなる改訂をし、私立大学の現状に沿った内容とした。  | —   |      |       |
| 6  | H28<br>(2016) | <b>私立大学の明日の発展のために—監事監査ガイドライン [平成28年度改訂版]</b>   | —   | 監事会議 | 加盟校   |
|    |               | 私立大学が持続的に発展するために、監事監査の意義と重要性を認識し、あり方を取りまとめた。   | —   |      |       |
| 7  | H27<br>(2015) | <b>監事監査実態アンケート調査報告書</b><br>監事の職務実態を明らかにし、その地位、役割と権限などを再検討するとともに、学校法人における監査手法と監査機能の改善・向上に資するべく、監事の立場から研究・討議内容を掲載。                             | <b>監事監査実態アンケート調査</b><br>①監事（選任等、規程等、職務、監査報告、報酬等）<br>②内部監査室並びに三様監査（内部監査室）<br>③その他（内部通報制度、リスクマネジメント等） | 監事会議 | 加盟校   |

## III. 政策研究

| No | 年度           | 成 果  |              | 委員会                  | 主な発信先             |
|----|--------------|--|--------------|----------------------|-------------------|
|    |              | 刊行物名／概要  | 関連アンケート／主な設問 |                      |                   |
| 1  | R3<br>(2021) | <b>座談会『ポストコロナ時代の大学のあり方～新たな大学教育の展開と課題～』（オンデマンド配信)のご案内</b>                                 | —            | 広報・情報委員会             | 加盟校<br>社会         |
|    |              | 標記座談会をオンデマンド配信により公開。単位の実質化をはじめとする大学設置基準の見直しや質保証のあり方等、大学での新たな学びの実現に向け、大学のトップリーダーが未来志向で議論。 | —            |                      |                   |
| 2  | R元<br>(2019) | <b>提言「新たな時代の就職・採用と大学教育—未来を拓く多様な人材育成に向けて—」</b>  | —            | 総合政策センター政策研究部<br>門会議 | 加盟校<br>国・政府<br>社会 |
|    |              | わが国の発展に貢献し未来を切り拓く若者の人材育成の重要性を踏まえ、私立大学の立場から、これからの時代にふさわしい就職・採用のあり方を取りまとめた。                | —            |                      |                   |

#### IV. 将来構想

| No | 年度            | 成 果   |   | 委員会                  | 主な発信先             |
|----|---------------|---|---|----------------------|-------------------|
|    |               | 刊行物名／概要   | 関連アンケート／主な設問  |                      |                   |
| 1  | H30<br>(2018) | <b>未来を先導する私立大学の将来像</b>  | <b>私立大学の将来構想の策定に向けた加盟大学における取り組み等に係るアンケート</b>  | 総合政策センター政策研究部門会議     | 加盟校<br>国・政府<br>社会 |
|    |               | 私立大学自らの姿勢と高等教育の将来の方向性を示すべく大学を取り巻く環境の変化を踏まえ、大学教育のあるべき姿や大学全体の規模や配置について考察。私立大学自らの将来に向けた姿勢として「私立大学の将来構想」を示すとともに、それを実現するために必要な国や産業界、社会からの支援について提示。 | 例示した大学の7つの役割について<br>①現在重視している役割<br>②現在の状況(強み、普通、弱み)、将来の位置づけ(優先度を高くする、普通、低くする)<br>③現在おこなっている具体的な取組と将来実施したい取組<br>※大学の7つの役割<br>1.知識基盤社会を支える高度で多様な教育の提供<br>2.能力の涵養(キャリア教育、社会人基礎力の養成等)<br>3.世界(グローバル化)を視野に入れた取り組み(グローバル人材の育成、世界レベルの研究の実践等)<br>4.地域社会に貢献する人材の育成<br>5.社会に向けた知的・文化的活動の推進(生涯学習の機会の提供、公開講座の開講等)<br>6.社会の意識改革に向けた主導的な取り組み(ダイバーシティ推進、働き方改革等)<br>7.日本の文化・芸術の発展とスポーツの振興 |                      |                   |
| 2  | H26<br>(2014) | <b>これからの私立大学のあり方に関する提言</b>  | —   | インテリジェンスセンター政策研究部門会議 | 加盟校<br>社会         |
|    |               | 私立大学のあり方にかかる検討成果に基づき、私立大学の価値と役割を提示し、改革の方向性を提言。  | —   |                      |                   |

## V. 地方創生

| No | 年度            | 成 果  |  | 委員会                    | 主な発信先             |
|----|---------------|--|--|------------------------|-------------------|
|    |               | 刊行物名／概要  | 関連アンケート／主な設問   |                        |                   |
| 1  | H30<br>(2018) | <b>地域と私立大学が共働する地方創生に向けて－地方大学の振興と地方創生のために－</b>  | <b>内閣府の地方創生関連予算の申請（交付）状況に関するアンケート</b>  | 地方大学の振興と地方創生に関するプロジェクト | 加盟校<br>国・政府<br>社会 |
|    |               | 地方創生の実現に向けた課題と私立大学が果たす役割について整理し、4つのアクションの実現に必要な提言を、私立大学、産業界、地方自治体、国に対してまとめた。   | I 内閣府「地方大学・地域産業創生事業」について<br>①平成30年度の申請状況<br>②工夫した点、苦勞した点等<br>③申請しなかった理由<br>④制度や手続きへの改善要望<br>II 内閣府「地方と東京圏の大学対流促進事業」について<br>①平成30年度の申請状況<br>②工夫した点、苦勞した点等<br>③申請しなかった理由<br>④制度や手続きへの改善要望<br>III 内閣府「地方創生推進交付金」について<br>①過去3年間の交付状況<br>②交付を受けたことのない理由 |                        |                   |
| 2  | H29<br>(2017) | <b>多様で特色ある私立大学の地方創生の取組</b>   | <b>地方創生に向けた取り組みに関するアンケート</b>   | 公財政政策委員会               | 加盟校<br>国・政府<br>社会 |
|    |               | 私立大学の実施する地方創生事例（178事例）を（1）地方におけるしごと創生、（2）地方への人の流れの創出、（3）地方のまちづくりのカテゴリー別に紹介。加盟大学における地方創生の取組の現状と公的支援措置に対する要望についてとりまとめ。 | ①地方創生にかかる取り組みの有無<br>②実施している取組内容の種類<br>③法人として組織的に実施している取組の具体的事例<br>④取組において、現在の公的支援（補助金等）の仕組みでは支援を受けられない取組や費目等<br>⑤新たな公的支援（補助金等）の措置によって実施できる（実施したい）取組  |                        |                   |
| 3  | H27<br>(2015) | <b>私立大学が支える地方活性化</b>   | <b>地方活性化のための実践事例アンケート</b>  | 地方活性化検討プロジェクト          | 加盟校<br>国・政府<br>社会 |
|    |               | 地方活性化のために私立大学が果たす役割や、地方活性化のために私立大学が取り組む具体的展開策、実践事例、取組における課題、国、自治体、連携機関等への提言・要望。                                      | ①活性化の取り組みについて、組織として総合的に把握する仕組みの有無<br>②取組事例の概要<br>③取り組みに当たっての課題、国などへの要望事項   |                        |                   |

## VI. 大学の基礎データの調査

|   |    | 調査名              | 主なデータ  | 委員会           | 主な発信先 |
|---|----|------------------|--|---------------|-------|
| 1 | 毎年 | <b>学生納付金等調査*</b> | ・大学学科別学生納付金額（初年度・在学期間）<br>・大学院課程・専攻科別学生納付金額（初年度・在学期間）<br>・学生納付金決定方式<br>・その他の徴収金一覧<br>・学校債・寄付金募集予定  | 広報・情報委員会情報分科会 | 加盟校   |
| 2 | 毎年 | <b>教職員待遇状況調査</b> | ・給与・諸手当（月額）支給状況<br>・期末手当（賞与）・入試手当支給状況<br>・本俸改定状況<br>・期末手当（賞与）・入試手当支給基準 等   |               |       |
| 3 | 毎年 | <b>財務状況調査*</b>   | ・資金収支計算書（法人別・規模グループ別）<br>・学生一人当たり収入・支出金額<br>・活動区分資金収支計算書（法人別・規模グループ別）<br>・事業活動収支計算書（法人別・規模グループ別）<br>・貸借対照表（法人別・規模グループ別）<br>・借入金等残高<br>・寄付者別寄付金内訳 |               |       |

|   |    | 調査名          | 主なデータ  | 委員会               | 主な発信先     |
|---|----|--------------|--|-------------------|-----------|
| 4 | 毎年 | 加盟大学財務状況の推移* | ・過去20年間の計算書類別金額及び構成比（加盟法人全体及び大学部門）   | 広報・情報委員会<br>情報分科会 | 加盟校<br>社会 |
| 5 | 毎年 | 学生・教職員数等調査*  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人全体学生・生徒・児童・園児数</li> <li>・学部別学生数（実員・定員）</li> <li>・学部別中途退学者数</li> <li>・入学状況（卒業年別、入試選考区分別、出身高校所在地県別）</li> <li>・編入学状況</li> <li>・学部別進路別卒業生数及び産業別就職者数</li> <li>・大学院研究科別学生数（実員・定員）</li> <li>・大学院研究科別中途退学者数</li> <li>・入学状況（年齢別、出身校別、入試選考区分別）</li> <li>・大学院別進路別卒業生数及び産業別就職者数</li> <li>・所属別教員数</li> <li>・大学院担当者数</li> <li>・研究休暇・国内研修・在外研究者数</li> <li>・担当科目別外国籍教員数</li> <li>・所属別職員数</li> <li>・業務分野別職員数</li> </ul> |                   | 加盟校       |
| 6 | 毎年 | 土地・建物面積等データ* | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自有借用及び目的別土地面積</li> <li>・自有借用及び目的別建物面積</li> <li>・図書冊数、閲覧室座席数</li> </ul>   |                   | 加盟校       |

※ \*については、私大連 web サイト（データライブラリ）からデータをダウンロードすることが可能です。

VI. 大学時報

|    | 年度            | 号数             | 特集                                     | 座談会                                | 委員会                     | 主な発信先 |
|----|---------------|----------------|--|------------------------------------|-------------------------|-------|
| 1  | R4<br>(2022)  | 404号           | 大学等における「STEAM教育」の取り組み                  | 海外交流の新しい形ーコロナ禍の先にあるものー             | 広報・情報委員会大学時報分科会         | 加盟校社会 |
| 2  | R3<br>(2021)  | 403号           | 大学職員のワークスタイルーニューノーマル時代の働き方を考えるー        | 学園祭のいま                             |                         |       |
| 3  |               | 402号           | 大学等における新型コロナワクチン接種の取り組み                | 大学におけるカーボンニュートラル実現へ向けて             |                         |       |
| 4  |               | 401号           | 大学アーカイブズの現在と可能性                        | コロナ禍の就職活動とキャリアサポート                 |                         |       |
| 5  |               | 400号           | 大学スポーツ振興の未来展望                          | 大学の未来へー継承と発展ー                      |                         |       |
| 6  |               | 399号           | コロナ禍における入試実施                           | キャンパスライフとは何か                       |                         |       |
| 7  |               | 398号           | 変わる大学入試                                | オンライン授業からの気づきー語学教育ー                |                         |       |
| 8  | R2<br>(2020)  | 397号           | 「繋がる」を考えるー帰属意識を高めるインナーコミュニケーションー       | 東日本大震災から10年を振り返るー地域再生と私立大学ー        | 総合政策センター広報・情報部門会議(大学時報) |       |
| 9  |               | 396号           | 学び合うキャンパス 最前線                          | 「教養教育」とは何かを考える                     |                         |       |
| 10 |               | 395号           | 大学ボランティアセンターの役割とこれから                   | コロナ禍における学生の心のケア                    |                         |       |
| 11 |               | 393号           | コロナ禍における大学の取り組み                        | 大学イメージの定着化によるブランディング               |                         |       |
| 12 |               | 392号           | 大学間による学生交流(国内留学制度)の現状と課題               |                                    |                         |       |
| 13 | R元<br>(2019)  | 391号           | SDGsに向けた大学の取り組み                        | 学生の読書実態と大学の読書啓発活動                  |                         |       |
| 14 |               | 390号           | 学生食堂の課題と今後のあり方                         | 変わりゆくオープンキャンパスのあり方                 |                         |       |
| 15 |               | 389号           | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催と連携した大学の取り組み | 大学広報紙の課題と展望                        |                         |       |
| 16 |               | 388号           | 留学生に対する学習面での日本語サポート                    | 学生実態調査の活用と課題                       |                         |       |
| 17 |               | 387号           | 学生寮を活用した国際交流、グローバル人材育成の取り組み            | 私立大学におけるインターンシップ推進を振り返る            |                         |       |
| 18 |               | 386号           | LGBT等に関する理解醸成と大学の取り組み                  | 大学における親子関係ー教育、学生指導を保護者と共にどう展開するのかー |                         |       |
| 19 | H30<br>(2018) | 385号           | 進化する『キャンパス』                            | 私立大学におけるキャンパスのあり方                  |                         |       |
| 20 |               | 384号           | 入学前教育の現状と課題                            | 教職協働の現状と課題                         |                         |       |
| 21 |               | 383号           | 大学は自然災害とどう向き合うか                        | 地方自治体と大学の就職に関する協定締結による地域活性化への期待    |                         |       |
| 22 |               | 382号           | 自校史と大学博物館                              | IRの実践の現状                           |                         |       |
| 23 |               | 381号           | 留学(海外送り出し)に伴う問題への取り組み                  | 未来を先導する私立大学の将来像                    |                         |       |
| 24 | 380号          | 大学図書館最新事情      | 私立大学における女性のキャリア形成                      |                                    |                         |       |
| 25 | 379号          | ICTを活用した通信教育過程 | ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて                    |                                    |                         |       |
| 26 | 378号          | 生涯学習・社会人の学び直し  | 周年事業について考えるー転換と発信の契機に                  |                                    |                         |       |
| 27 | H29<br>(2017) | 377号           | 薬学教育のいま                                | 全員留学に期待する効果と注意点                    |                         |       |
| 28 |               | 376号           | 学生の学修時間確保の現状と課題                        | 就職採用活動の日程と大学教育の現状を考える              |                         |       |
| 29 |               | 375号           | 大学業務の委託や教育プログラムにおける連携協力                | キャンパスの都心回帰の意義と今後の展開                |                         |       |
| 30 |               | 374号           | 女性の学び直しにおける大学の役割                       | 大学における第二外国語教育の意義とこれからの展開           |                         |       |

|    | 年度            | 号数   | 特集  | 座談会  | 委員会                                 | 主な発信先     |
|----|---------------|------|---|--|-------------------------------------|-----------|
| 31 | H28<br>(2016) | 373号 | 国による給付奨学金創設を機に奨学制度全体を俯瞰する                             | リベラル・アーツ教育は、いま                                   | 広報・情報委員会<br>大学時報<br>分科会             | 加盟校<br>社会 |
| 32 |               | 372号 | 東日本大震災を契機に一被災地と大学との連携再考―                              | 大学におけるスポーツ系学生へのケアやサポート                           |                                     |           |
| 33 |               | 371号 | 宗教学部・学科の現在と意義   | 新たなインターンシップの意味付け                                 |                                     |           |
| 34 |               | 370号 | 大学における障害者差別解消に向けた取り組み                                 | 大学は発達障害をどう受け入れるのか                                |                                     |           |
| 35 |               | 369号 | 選挙と大学   | 「医師」を育てるとは―医学部教育の現在                              |                                     |           |
| 36 |               | 368号 | 高等教育は持続可能なのか  | 「入試改革」のこれまでと、これから                                |                                     |           |
| 37 | H27<br>(2015) | 367号 | 少人数教育の効果と課題   | 大学図書館はこれからどうなるのか                                 | インテリジェンスセンター<br>広報・情報部門<br>会議（大学時報） |           |
| 38 |               | 366号 | それぞれの大学・立場から考える”大学におけるキャリア教育（支援）”とは                   | 初年次教育の今  |                                     |           |
| 39 |               | 365号 | 『第14回学生生活実態調査』から読み解く現代学生像とこれからの学生支援                   |  |                                     |           |
| 40 |               | 364号 | 特徴ある正課外教育で学生を教育する                                     | 4年制私立大学における看護師養成の未来                              |                                     |           |
| 41 |               | 363号 | わが国における「ユニバーサル化」―社会人学生の現在地から                          | 戦後70年の私立大学の歴史、果たしてきた役割を振り返る―教育、研究、社会貢献、機会均等の観点から |                                     |           |
| 42 |               | 362号 | 大学新入生の”トモダチ作り”を考える                                    | 大学の普遍性と地域に根差す大学の溢れる魅力                            |                                     |           |
| 43 | H26<br>(2014) | 361号 | “私立大学”のガバナンス、マネジメント体制を考える                             | 改正学校教育法施行後の教学マネジメント体制                            |                                     |           |
| 44 |               | 360号 | 私立大学における教員養成教育のあり方                                    | 学長の初夢  |                                     |           |
| 45 |               | 359号 | 大学で“芸術家”を育てるということ                                     |  |                                     |           |
| 46 |               | 358号 | 世界で広まるMOOC (Massive Open Online Course) ―わが国の高等教育への展開 |  |                                     |           |
| 47 |               | 357号 | 「生活の場」から「人材育成の場」まで―進化する「寮」の目指すもの                      | 学校法人会計基準のこれまで、そしてこれから―私立大学の説明責任及び経営にもたらす影響を考える   |                                     |           |
| 48 |               | 356号 | 外国人学生・留学経験者への就職支援                                     | 教養教育の復活―課題と展望                                    |                                     |           |
| 49 | H25<br>(2013) | 355号 | 大学のブランディング  | いま大学に求められる情報倫理教育とは                               |                                     |           |
| 50 |               | 354号 | 変わる大学図書館と学修支援の広がり                                     | 大学は“二〇二〇年問題”にどう向き合うか―一八歳人口の減少から大学の今後の行方を考える      |                                     |           |
| 51 |               | 353号 | 奨学金政策の今、そしてこれから                                       | サービス・ラーニングの学びが学生にもたらすもの                          |                                     |           |
| 52 |               | 352号 | 求む！理系女子のちから   | 社会人の「学び直し」に大学は応えるのか                              |                                     |           |
| 53 |               | 350号 | 学生に海外体験を―留学のススメ                                       | 世界で活躍する人材を養成するための真の外国語教育とは                       |                                     |           |
| 54 |               | 350号 | 今こそ、IRの導入を！   | 学生の主体性を引き出す大学教育とは                                |                                     |           |

※大学時報については、私大連 web サイトにおいて全文検索が可能です。